

## 出初式

1月11日(日) 早朝より町消防団による出初式が行われました。役場前の駐車場で観閲、機械点検を行い、第1、第3分団員によるはしご乗りが披露され、1年間の無火災を祈願しました。また第8分団で管理している明治時代の腕用ポンプで分団長以上が大きな掛け声に合わせて交互にポンプを動かす、色のついた水を放水しました。その後、富士見駅まで分列行進を行い、町民センターで消防活動に功労のあった団員及び団体を表彰しました。



第1・第3分団員による、はしご乗り  
1年間の無火災を祈願しました

## 初区長会

1月9日(金)に役場において、初区長会が行われました。町から当面する町の事務事業などについて各課長から説明がありました。

また各区への振興補助金の減額について、過去からの経過説明があり、理解を求めました。



初区長会であいさつする矢嶋町長



町長から各区長を代表して委嘱書を受けとる  
神戸区長の伊藤一郎さん



古林消防団長を筆頭にきびきびとした規律で  
町内を行進する消防団員

昨年記念式典を行う話は池袋で開いた同窓会で知ったがその時はあまり気乗りがしなかった。それが後になって参加するきっかけになったのは偶然に見たテレビドラマで富士見高原療養所を舞台にしたワンシーンだった。

背景に八ヶ岳の編笠、権現阿弥陀三山の見覚えのある雄美の姿がテレビ画面に映し出されたとき、急に懐かしさがこみ上げてきた。同時に故郷の少年の頃の思い出が次々と浮かんできた。八ヶ岳登山や入笠山登山での思い出や、また夏は種々の花が咲き乱れ、秋の紅葉にはからまつ林が一面金色に輝く八ヶ岳高原の光景や、また水遊びに興じた釜無川などが、フラッシュバックとなつて駆け巡つていった。

さて、当日(昨年10月25日)は天気にも恵まれた。中央高速道も空いていて、ゆとりをもって葛木の実家へ立ち寄り一

休みしてから、会場の落合小学校に向かった。セレモニーは午後1時から始まり、先輩の戦時中の苦労話につらかった時代を偲び、名取・安田両先生のクラシックコンサートでは見事の演奏に堪能し、また児童の音楽劇では先生と児童全員の一路に演じる純真さに感動し、非常に充実した2時間半であった。児童は全校で82名と我々の時代と比べ少人数になったのは淋しいが、全員これから一向に景気の良くなるに厳しい世の中に立ち向かい、それに打ち勝ち立派な社会人に育つて欲しい。

セレモニーの後の祝賀会で何人かの同窓生や小学校時の担任、それに思いがけない幼馴染にも会い、歓談の楽しいひとときを過ごすことができた。「やはり、ふるさと富士見は暖かい」が参加の感想だった。

## 「落合小学校開校130周年記念式典」に参加して



窪田敏男

横浜市  
(上葛木出身)

## ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより

(次ページに続く)